

まにわし よし えんぎむらきょうぎかい
真庭市 (吉縁起村協議会) (岡山県)

2024年3月作成

登録事業：農村型地域運営組織モデル形成支援（農水省）



○小学校の廃校、郵便局の廃止を背景に、令和元年に地域の有志により「地域おこし隊吉縁起村」を結成。地域の拠点施設である立寄処の利便性向上、農産品・特産品の販売による収益の確保、耕作放棄地の再生等に取り組み、コミュニティ新聞の定期発行で合意形成を図りながら協議会の自主運営（法人化）を目指す。

○GISを活用したデジタル農地マップの作成、無人キャッシュレスストアの運営等、デジタル技術を活用した取組を展開中。

地域の概要

人口 (R2国勢調査)
148人
土地面積 (R5.4月時点)
679ha
農地面積 (R5.4月時点)
22 ha
世帯数 (R5.4月時点)
86 世帯

構成員

- 岩坪・林集落協定
- 地域おこし隊 吉縁起村
- 地域おこし協力隊
- 津田コミュニティ交通協議会
- 猟友会落合分会津田班
- 真庭市落合振興局

助言・支援機関

- 岡山県
- 地域社会総合研究所 藤山浩氏
【総務省：地域力創造アドバイザー】
- ①(一社)真庭GadgetCreations
- ②(株)共栄商事
- ③NTTグループ
- ④(農)寄江原
- ⑤バイエルクロップサイエンス(株)

主な取組内容

農用地保全

- 平場でラジコン草刈機を活用し、再生予定農地の維持管理を省力化。
- GISを活用した農地マップの作成により地番等の基本情報、水路等のインフラ情報、住民の農地活用の意向をGISデータに集約し、情報を一元管理できる環境を整備。①
【国交省：市町村管理構想・地域管理構想策定推進対策事業(R5)】

農業

- (農)寄江原において、スマート農機のシェアリング等を実証。田植機・コンバインのシェアリングにより減価償却費が10a当たり49%低下。R5年度よりドローンを活用した水稲の直播・防除を実装。
【農水省：スマート農業実証プロジェクト(R元-R2)】
- 中山間地域でシニア層の新規参入があり、新規耕作地が増加（新規就農3名、耕作地9087㎡増）

地域資源

- さつまいも（紅はるか・スイオウ）を使用した特産品を開発。
- (農)寄江原と連携し、インディカ米（プリンセスサリー）の作付けを開始。

生活サービス

- 立寄処に日用品を販売する24時間営業の無人キャッシュレススマートストアを設置。コンビニ、スーパーがなかった地域の利便性が向上。②③
- 吉地域では津田コミュニティ交通協議会が市の委託を受け枝線ルートでのデマンド交通を運行（1乗車200円）。国交省事業を活用する幹線ルートと連携しながら利便性向上を図る。
【国交省：地域公共交通確保維持改善事業(R5)】

今後の展開

- 耕作放棄地を再生し、農用地面積を拡大。
- GIS情報を活用し、最適な土地利用（水田・畑・果樹・粗放管理等）について検討。短期的な個別圃場の管理計画と水路等のインフラ管理を含む長期的なゾーン構想を定める。

- (農) 寄江原、民間事業者と連携し、RTKによる高精度なドローン直播・防除実施。中山間地域での効果的なスマート農業を推進する。④⑤
- 更なる農用地の拡大を目指す。

- 大学や地元企業等と連携しながら、収益性確保に向けた生産・加工・販売体制を推進。

- スマートストアの収益確保に向け、市役所や高校、自立支援協議会（障がい者支援）等と連携し、周辺地域への店舗拡大を検討（1→4店舗）。新規店舗では、地域農産品やそれを活用したお弁当等の販売を計画。
- デマンド交通と連携した貨客混載（スマートストアの商品仕入れ、地域農産品等の集荷体制の構築等）を実証。
【貨客混載のアドバイザーとして国交省岡山運輸局の担当者を紹介】



ラジコン草刈機



特産品



デマンド交通



小中学生の意見を取り入れたスマートストア

活性化プランに基づき取り組む事業の概要

落合・久世・勝山集落ネットワーク圏（岡山県真庭市）

事業名：真庭市域スマートストアプロジェクト～新たな地域内経済循環ネットワークの形成～

背景・課題・活性化の方針等

【背景・課題】岡山県真庭市は全域が過疎地域に指定されており、その中でも吉縁起村は落合・久世・勝山地域にある山間部の集落（約86世帯、約148人）である。

- ・高齢化率：50%、
- ・公共施設等：公民館なし、保育園や小中学校なし、診療所なし

【活性化の方針】

- ・先端技術を活用した、地域の暮らしの質の向上
- ・専門人材を活用した地域コミュニティ活性化
- ・公共交通/デマンド交通を活用した、貨客混載の実現

事業実施体制

運営主体：吉縁起村協議会

- ・岩坪・林集落協定
- ・地域おこし隊 吉縁起村
- ・地域おこし協力隊
- ・津田コミュニティ交通
- ・猟友会落合分会津田班
- ・真庭市落合振興局

岡山県真庭市落合振興局



支援

集落ネットワーク圏で取り組む内容

①地域振興・先進的技術の活用

◆ICTを用いた無人店舗(スマートストア)の多店舗展開
(吉縁起村協議会、まにワッショイ)

・吉縁起村のスマートストアの継続運営のため、売り上げが見込める店舗の設置・運営

⇒真庭市役所へ各地域の特産品・お土産等の販売が行える店舗の出店

⇒勝山駅に地域住民のニーズに合わせた店舗の出店

・専門人材を活用した出店計画の立案

▶過疎地スマートストアの赤字を補う黒字店舗の出店計画を立案

⇒新規店舗の出店場所候補地の検討

⇒出店後の継続した黒字化のためのアイデアの創出

⇒プロモーションによる利用促進

②活性化・交流促進

◆市街地と中山間地域の交流促進・活性化
(吉縁起村協議会、まにワッショイ)

・スマートストアの運営をきっかけとした、市街地と中山間地域の住民/企業/団体間交流の活性化

⇒共同運営による地場企業/団体との交流活性化

⇒スマートストア活用方法の検討、ニーズの調査

③物流の課題解決

◆公共交通・デマンド交通を利用した貨客混載の実現
(吉縁起村協議会)

・各スマートストアへの集荷/集配の効率化の検討
(専門人材の活用)

⇒貨客混載の試行・本格運用方法の検討

⇒実施計画/物流計画の立案



農村未来型無人店舗「スマート・縁起村」



吉縁起村の特産品開発